令和7年度とよたシニアアカデミー通年コース

文化工芸学科 9月の講座風景

9月は、三つ目綴じ、四つ目綴じの手法を習って製本に挑戦しました。受講生各々がイメージに合わせて、自分の好きな紙を持ち寄り糸で綴じて本を作ります。お気に入りの紙をそのまま綴じるのも良し、メモ用に使いたければ中味は白いままで、写真を貼っても、物語を考えて絵本にするのも良し、自由な発想で製本を楽しむことを目的に4回コースでチャレンジしました。

「活用しよう!製本技術」9/3~24(水)計4回



講師:こうむらゆきな氏 前



前田一子氏



「想像と創造とは…」真剣に話を聴く受講生



目打ちで穴をあけてから綴じます



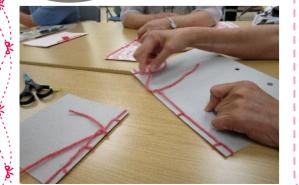
表紙は、何色が良いかなあ…



だんだんとイメージが湧いてきた!



左側が



「四つ目綴じ」を制作中

【ふりかえりより】

- ●講座が始まった頃は、難しい、アイディアがない、興味が湧かないと思っていましたが、回を重ねて趣味で作ったものを記録に残そうという気持ちになってきました。
- ●製本について自由な発想をしよう!と言われましたが、経験のないことで初めは戸惑いました。色々な形式を思い巡らせながら作品作りができたことは、楽しかったです。初めての作品は失敗だらけですが、それでも可愛い思い出になりそうです。
- ●三つ目綴じ、四つ目綴じができる様になり、 オリジナルの手帳や本などを作ろうと、 わくわくしています。



ちょっと難しい四つ目綴じ



本ができてくると楽しくなってくるね



私は、木版画で刷った作品を本にしてみました

【ふりかえりより】

●4回の講座を通じて製本の歴史や手法など、楽しく 学ぶことができました。身近な材料で本ができ、そ れが引き継がれていくって素敵だなと思います。製 作過程で迷ったり、工夫したり…と悩みもしました が、オリジナルの作品作りは面白かったです。







完成した作品の紹介。みなさん、見事な出来栄えでした。